

全国の女性首長と考える 防災・減災・復興

日時:2022.12.18(sun) 10:00-12:30

申込先着200名(参加費無料)

南海トラフや首都直下型の大地震、多発する自然災害等によって甚大な被害が懸念されるなか、災害への備えは喫緊の課題です。このシンポジウムでは、奥山恵美子元仙台市長と伊東香織倉敷市長による基調講演を中心に、地方自治体の女性首長とともに、ジェンダー・多様性の視点に立った防災・減災・復興について考えます。行政・団体・市民・企業等がどのように連携し地域の災害対応力を高めていけるのか、一緒に考えてみませんか。

…プログラム…

第1部 基調講演&質疑

I 奥山恵美子さん(元仙台市長)

「災害対応の5つの反省」

II 伊東香織さん(倉敷市長)

「倉敷市真備町における平成30年豪雨災害からの復興」

モデレーター 堂本暁子

第2部 地方自治体の女性首長とのパネルディスカッション

モデレーター 田中由美子

★申込方法⇒NWECホームページ

(https://www.nwec.jp/event/training/g_forum2022.html)

から「NWECフォーラム2022」特設サイトにアクセスし、フォーラムへの参加登録をしたのち、当シンポジウム (No.8) の参加申込をしてください。(受付開始 12/1(木) 9時~)

申込はこちら



【主催・問合せ】男女共同参画と災害・復興ネットワーク(JWNDRR)

E-mail:saigai.gender@gmail.com

【協力】公益財団法人日本女性学習財団(JAWE)・主婦連合会

防災・減災日本CSOネットワーク(JCC-DRR)

登壇者プロフィール

奥山恵美子さん 元仙台市長、七十七銀行社外取締役



東北大学経済学部卒業後、仙台市役所に就職し、生涯学習課長、女性企画課長、せんだいメディアテーク館長、教育長等を歴任し、仙台市副市長となる。2009年7月の仙台市長選で初当選し、政令指定都市初の女性市長となり、2011年3月の東日本大震災の発災時には、自らリーダーシップを発揮し対応に当たる。その取り組みが「持続可能な都市作りの模範」として評価され、ドイツ持続可能賞ファンデーションが主催するドイツ持続可能賞名誉賞を受賞。2017年に仙台市長を2期で引退し、2018年6月から現職。

伊東香織さん 倉敷市長



東京大学法学部卒業後、郵政省(現 総務省)入省。米ハーバード大学ロースクール修了。2008年倉敷市長に就任。現在4期目。内閣官房まち・ひと・しごと創生会議構成員、国土審議会委員、中核市市長会長などを歴任。現在、岡山県市長会長、全国市長会副会長を務める。平成30年7月豪雨災害の倉敷市真備地区における大規模浸水災害からの復興に取り組んでいる。

堂本暁子 男女共同参画と災害・復興ネットワーク代表



1959年TBS入社。報道局記者、ディレクターとして1980年『ベビーホテル・キャンペーン』で日本新聞協会賞ほか受賞。1989年から参議院議員として、男女共同参画社会基本法、環境基本法、DV防止法、児童買春防止法等の制定に関与。GLOBEの日本総裁、世界総裁、IUCNアジア地域理事等を歴任し、1997年UNEP(国連環境計画)の『環境に貢献した25人の女性リーダー』に選ばれる。2001年に千葉県初の女性知事として当選し、2期8年務める。2012年男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰受賞するほか受賞歴多数。2011年12月に男女共同参画と災害・復興ネットワークの代表となり、現在に至る。

田中由美子 男女共同参画と災害・復興ネットワーク副代表



国連工業開発機関(UNIDO)、国連アジア太平洋経済社会委員会(UNESCAP)を経て、1990年から国際協力機構(JICA)国際協力専門員として、途上国の女性の経済的エンパワーメントや人身取引対策に尽力するほか、ジェンダー視点に立った防災や地域振興、インフラ整備などを推進し、世界各地で開発に携わってきた。また、城西国際大学特命連携教授、2018年から国連女性の地位委員会日本代表を務める。令和4年度男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰を受賞。



【男女共同参画と災害・復興ネットワーク事務局】

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8

日本女子会館5F オフィスWe Learn内

URL:<https://jwndrr.org/>